

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

平成23年12月26日（月）～平成24年1月1日（日）〔平成23年第52週〕の感染症発生状況

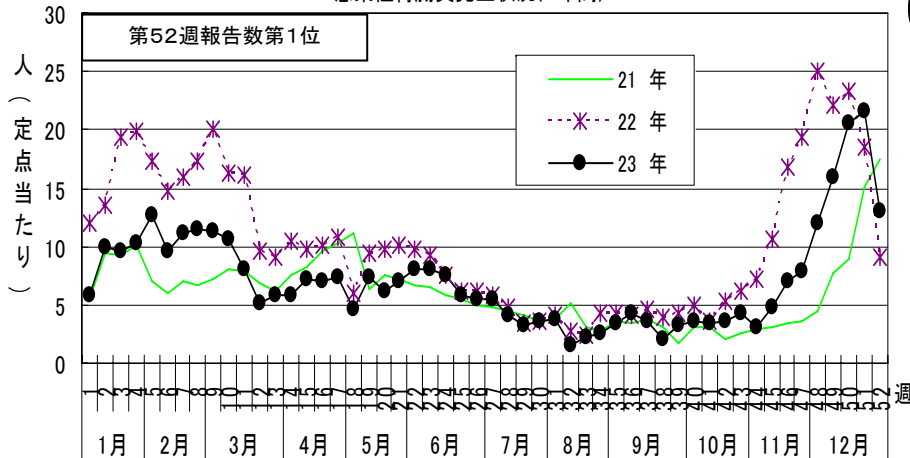
第52週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)水痘 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎は定点当たり13.10人と前週（21.52）より患者報告数は大幅に減少していますが、第52週は年末年始の期間であり、休診医療機関が多かったため、全体的に報告数が少なくなったものと推測されます。

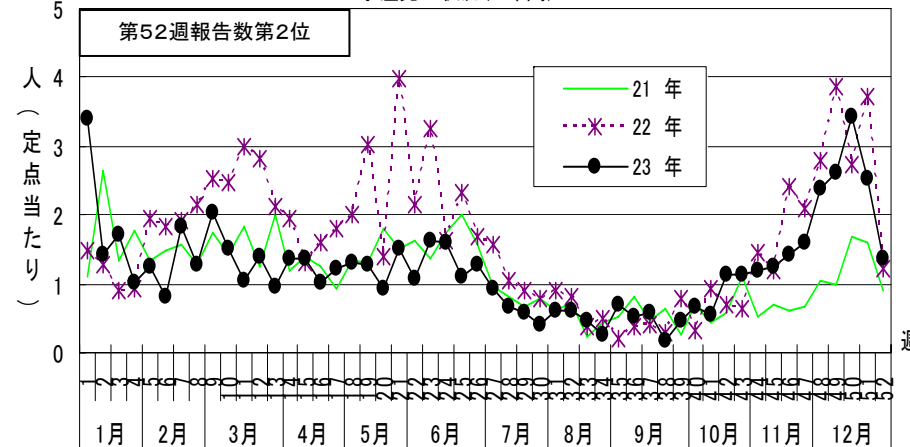
水痘も定点当たり1.35人と前週（2.52）より患者報告数が大幅に減少しています。

マイコプラズマ肺炎の報告はありませんでしたが、今期の報告数は例年に比べて非常に多いため、今後も発生動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



水痘発生状況(3年間)



感染予防の基本は『手洗い』！！～正しい手洗い方法～

これから新たな年の生活が始まります。今年は昨年以上に感染症予防対策を徹底し、感染症にかからないように、また誰かにうつさないように、健康に一年を過ごしましょう。

例年1月下旬から2月頃にかけて「インフルエンザ」が流行しますので、これから注意が必要です。インフルエンザの予防に有効な方法として、「手洗い」「うがい」「咳エチケット」「マスク」などがあります。今回は、感染性胃腸炎などの多くの疾患にも有効である『手洗い』を取り上げました。

～こんなときは必ず手洗いを！～

- ①帰宅時
 - ②トイレの後
 - ③食品を取り扱う時
 - ④食事の前
 - ⑤咳やくしゃみを手で押さえた後
 - ⑥オムツ交換時 など
- ※手洗いの際には指輪などは外しましょう。



「手洗い」は、多くの感染症に有効な予防方法です。正しい手洗いの習慣を身につけましょう。

